

児童室だより No. 78(2012. 1発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p align="center">『あかいくま』</p> <p align="center">中脇初枝作 布川愛子絵 講談社 2011.8 【小低】</p>	<p>りかちゃんは、じぶんのことをあかいくまだとっていました。赤ちゃんのころから、ぬいぐるみの赤いくまさんと一緒だったからです。学校につれて行かれたりかちゃんは、じぶんは人間の学校には行けないと思いました。でも、おかあさんは、りかちゃんは人間だから大丈夫だと言いました。そこで、りかちゃんは、赤いくまさんと一緒に、こたえをさがす旅にでます。</p> <p align="right">(J913-ナカ-1110247721)</p>
<p align="center">『レンタルロボット』</p> <p align="center">滝井幸代作 三木謙次絵 学研教育出版 2011.9 【小中】</p>	<p>学校の帰り道、健太は「ロボットかします」というお店を見つけます。その店で、以前から弟のほしかった健太は、おこづかい全部とひきかえに、弟ロボットを借りることにしました。ロボットの名前はツトム。最初は楽しくやっていた健太でしたが、おもちゃやおやつ、テレビのことなど、しだいに不満がたまり、いつのまにかツトムにむかって「お店に返すぞ!」とおどしもんくを言うようになってしまいました。</p> <p align="right">(J913-タキ-1110259660)</p>
<p align="center">『パパはバードマン』</p> <p align="center">デイヴィッド・アーモンド作 ポリー・ダンパー絵 金原瑞人訳 フレーベル館 2011.10 【小中～小高】</p>	<p>リジーはパパとふたりぐらし。パパは最近仕事もしておらず、ひげも伸び放題。そんなパパが、鳥人間コンテストに出ると言い出します。それは、布や鳥の羽で作った翼をつけて、鳥のように飛ぶコンテスト。パパは、鳥のようになるために、虫やミミズを食べ始めます。リジーはとても心配。でも、パパの何かをやり遂げようという熱意にうたれ、自分も一緒にコンテストに出場することにします。</p> <p align="right">(J933-アモ-1110282702)</p>
<p align="center">『きのこ ふわり胞子の舞』</p> <p align="center">埴沙萌写真・文 ポプラ社 2011.9 【小低】</p>	<p>もりのなかで、けむりがでているきのこにであいました。けむりの正体は、胞子。きのこの「たね」のようなものです。いろいろなきのこの胞子のとぶようすが、鮮明な写真で紹介されています。雨のしずくに押されてふき出したり、虫に運んでもらうものもあります。お店で売っている新鮮なシイタケやシメジでも、胞子のとぶさまを見ることができ、そのやり方ものっています。</p> <p align="right">(J474-ハニ-1110259740)</p>
<p align="center">『ここがわたしのおうちです』</p> <p align="center">アイリーン・スピネリ文 マット・フェラン絵 渋谷弘子訳 さ・え・ら書房 2011.10 【小中～小高】</p>	<p>ダイアナは、家族4人で楽しく暮らしていました。でも、パパが仕事をなくしたので、おじいちゃんの家に移すことになりました。おじいちゃんは大好きだけど、引越しはとても嫌。だからといって、避けることはできません。引越し後、元気のないダイアナでしたが、詩を書くことを学んだり、新しい友達との出会いをきっかけに、少しずつ元気を取り戻していきます。ダイアナの詩と日記で、物語が成り立っています。</p> <p align="right">(J933-スピ-1110279206)</p>
<p align="center">『ウィッシュ 願いをかなえよう!』</p> <p align="center">フェリーチェ・アリーナ作 横山和江訳 講談社 2011.8 【小高】</p>	<p>「手で三角形をつくり、それを飛行機に向け、飛行機が三角形の中に入ったら手をたたく。それを百回行えば願いがかなう。」というでまかせを教えられたダウン症の少年セブ。病気の母さんを助けるためにはこれしかないと思ったセブは、飛行場へ行くため家を出ます。なんとか飛行場にたどりついたセブでしたが、あと一機というところで、警察に見つかり家まで送り返されてしまいます。家に帰ってからも、飛行機を探し続けるセブ。そんなある日、セブの家に飛行機がやってきたのです。</p> <p align="right">(J933-アリ-1110236960)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="213 230 647 271">『シーラカンスとぼくらの冒険』</p> <p data-bbox="320 342 544 477">歌代朔作 町田尚子絵 あかね書房 2011.9 【小高】</p>	<p data-bbox="708 224 1430 454">ある日、マコトは地下鉄のホームでシーラカンスに出会います。驚いたマコトは、幼なじみのアキラとともに、このシーラカンスの謎を調べ始めます。ふたりは言葉を話すことができるこのシーラカンスと親しくなり、師匠としようようになります。しかし、その師匠は陸シーラカンスという絶滅危惧種だということが分かり、ケガをきっかけに大学の研究室に保護されることになってしまいます。悩んだ末、ふたりは、師匠の生き方を守るために行動します。</p> <p data-bbox="1161 483 1430 510">(J913-ウタ- 1110255554)</p>
<p data-bbox="204 528 657 602">『パンダもの知り大図鑑 飼育からわかるパンダの科学』</p> <p data-bbox="304 622 560 719">倉持浩著 誠文堂新光社 2011.8 【小高】</p>	<p data-bbox="708 533 1430 703">著者は、上野動物園のジャイアントパンダの飼育員。パンダ舎での生活や、飼育をする中で分かってきたパンダの生態について詳しく説明しています。意外なことに、パンダはササ以外のものも食べ、動物園では、にんじんやとうもろこし粉のダンゴも与えています。繁殖に成功したことがある上野動物園ならではの解説もあります。</p> <p data-bbox="1161 725 1430 752">(J489-クラ- 1110233181)</p>